

ひきこもりの現状

■ こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）

- ・ひきこもり状態にある方
 - ：全国 約146万人
 - ：三重県 約 2万人（単純推計） **国民50人に1人の割合**



- ・過去調査におけるひきこもり状態にある方
 - ：全国 約115.4万人（H27年度・H30年度）
 - ：三重県 約 1.6万人
- ※調査が異なるため、単純比較はできないことに留意

・広義のひきこもり群の割合

	有効回答数に占める割合
15～39歳	2.05%
40～64歳	2.02%

・男女別割合

	男性	女性
15～39歳	53.5%	45.1%
40～64歳	47.7%	52.3%

・ひきこもり状態になった理由として「新型コロナウイルスの流行」をあげた方の割合（複数回答）

15～39歳	18.1%
40～64歳	19.8%

ひきこもり支援状況

■ 県のひきこもり相談窓口

三重県ひきこもり地域支援センター（平成25年開設）

- ・電話相談、来所相談、精神科医師による面接相談 等

■ 市町のひきこもり相談窓口等

（1）ひきこもりに関する相談窓口の明確化と周知

全29市町において相談窓口の明確化と周知済

（2）市町村プラットフォームの設置・運営

23市町で設置済

（3）支援対象者の実態やニーズの把握

11市町で実施済

■ 市町のひきこもり地域支援センター等運営状況

（1）ひきこもり地域支援センター事業 3市

相談支援・居場所・ネットワーク・当事者会/家族会・住民への普及啓発 等

（2）ひきこもり地域支援ステーション事業 2市

相談支援・居場所・ネットワーク 等

（3）ひきこもりサポート事業 4町

相談支援等の任意事業

■ 重層的支援体制整備事業・移行準備事業実施市町（R3年度～）

重層的支援体制整備事業 11市町

移行準備事業 2市町

次期「三重県ひきこもり支援推進計画」策定に向けて

計画目標の進捗状況

計画全体の目標

目標項目	現状値 (3年度)	4年度 実績	5年度 実績	6年度 目標値
「ひきこもりに関する理解が進んだ」と感じる県民の割合 (※1)	—	87%(※3)	90.9%(※5)	70%
「ひきこもり当事者やその家族に寄り添った支援体制の 整備が進んでいる」と考える相談支援機関の割合(※2)	—	37%(※4)	57.8%(※6)	70%

※1 ひきこもり支援フォーラムに参加した県民の皆さんを対象にしたアンケート調査において、ひきこもりに関する理解が「進んだ」「やや進んだ」と回答した割合

※2 ひきこもりに関する支援機関を対象にしたアンケート調査において、ひきこもり当事者やその家族に寄り添った支援体制の整備が「進んだ」「やや進んだ」と回答した割合

※3 令和4年4月16日開催のフォーラムでは、「進んだ」「やや進んだ」と回答した割合が82.8%、令和4年8月27日開催のフォーラムでは、「進んだ」「やや進んだ」と回答した割合が91.7%で2回のフォーラムの平均値が87%

※4 ひきこもりに関する支援機関315機関を対象にしたアンケート調査において、ひきこもり当事者やその家族に寄り添った支援体制の整備が「進んだ」「やや進んだ」と回答した割合が37%

※5 令和5年9月3日開催のフォーラムで「進んだ」「やや進んだ」と回答した割合が90.9%

※6 ひきこもりに関する支援機関309機関を対象にしたアンケート調査において、ひきこもり当事者やその家族に寄り添った支援体制の整備が「進んだ」「やや進んだ」と回答した割合が57.8%

次期「三重県ひきこもり支援推進計画」策定に向けて

■ 6つの取組方向ごとの目標(モニタリング指標)

取組方向	項目	現状値(3年度)	4年度 実績	5年度 実績
取組方向1	○ひきこもり支援に関する講演会等への参加者数	—	382人(4月) 420人(8月)	500人
	○SNSアカウントにおける投稿件数	—	215件	150件
取組方向2	○市町における相談窓口の明確化・周知および市町プラットフォームの設置・運営数	相談窓口21市町 プラットフォーム19市町	相談窓口29市町 プラットフォーム20市町	相談窓口29市町 プラットフォーム23市町
	○相談支援機関における新規相談件数	—	1,338件	1,298件
	○不登校児童生徒が、学校内外の機関等での相談・指導等を受けた割合	小学生 72.9 % 中学生 63.2% 高校生 58.0% (2年度)	小学生 66.7 % 中学生 63.2% 高校生 50.0% (3年度)	小学生 70.9 % 中学生 61.5% 高校生 49.9% (4年度)
取組方向3	○三重県ひきこもり地域支援センターにおける専門相談件数(延べ)	275件(2年度)	368件	531件
	○家族教室への参加者数(延べ)	42人(2年度)	56人	103人
取組方向4	○三重県ひきこもり地域支援センターにおける多職種連携チームによる支援件数	—	17件	20件
	○アウトリーチ支援員による面談・訪問・同行支援件数(延べ)(三重県生活相談支援センター)	127件(3年12月)	237件	272件
	○不登校支援アドバイザー等による訪問型支援を実施した人数および実施回数	22人/134回 (2年度)	87人/303回	220人/941回
取組方向5	○ひきこもり当事者のための居場所数	24か所	42か所	45か所
	○子どもの居場所数	78か所(3年12月)	135か所	181か所
	○民間施設(フリースクール等)が行う体験活動への支援回数	17回(3年12月)	76回	29回
	○地域若者サポートステーションにおける相談件数	6,518件(2年度)	5,960件	6,542件
取組方向6	○相談支援包括化推進員養成数	56人(2年度)	33人	19人
	○ひきこもりサポーター制度の創設	—	調査検討	調査検討

「第二期三重県ひきこもり支援推進計画(仮称)」の策定方針(案)

現行の「三重県ひきこもり支援推進計画」の計画期間が最終年度を迎えることから、以下の方針により「第二期三重県ひきこもり支援推進計画(仮称)」を策定します。

- (1) 現行計画の進捗状況や課題を検証したうえで策定する。
- (2) 県内におけるひきこもりの実態や支援ニーズを把握するための実態調査を実施し、その結果をふまえて策定する。
- (3) 8050問題のように課題が複合化・複雑化している中高年層の当事者等への支援についても盛り込み、より包括的な取組を推進するための計画として策定する。
- (4) 国が新たに策定する「ひきこもり支援ハンドブック～寄り添うための羅針盤」の検討状況を見据えて策定する。
- (5) 地域福祉分野の上位計画にあたる「三重県地域福祉支援計画」の次期計画策定との整合性を図りながら策定する。

次期「三重県ひきこもり支援推進計画」策定に向けて

次期「三重県ひきこもり支援推進計画」の策定スケジュール(案)

